

鉱工業指数をご利用いただく前に

鉱工業

鉱工業とは鉱業及び製造工業を意味しますが、本県では鉱業の業種分類を設けておりません。

鉱工業指数

鉱工業指数は、鉱工業の活動水準及び動向を総合的に示すものです。本県の鉱工業指数は生産指数・在庫指数の2種類で構成されており、生産指数は生産活動の動向を、在庫指数は生産者段階で残っている製品在庫の状況を表します。

鉱工業指数は鉱工業に関する生産活動が奈良県の経済活動に占めるウェイトが大きいこと、景気の動きに敏感に反応すること、結果の公表が速いことなどから、本県の地域経済にかかる短期的な動向分析及び構造分析等に利用されています。

基準時

基準時は、平成17年としています。したがって、指数値は平成17年の平均を100.0とした比率で示されています。

採用品目

鉱工業全体の製品の中からそれぞれの業種の活動を代表する特定のものを選り出して採用品目とします。

ウェイト

全体に対する品目や業種の重要度を示すもので、基準時の付加価値額（生産指数）及び在庫額（在庫指数）の構成比から算出します。ウェイトを比較することで、過去から最近までの各業種の構成比（産業構造）の変化を知ることができます。

原指数・季節調整済指数

原指数は、毎月の生産・在庫数量を基準時の年間平均数量で除した指数であり、年別の動向や前年比を長期的に観察する場合に使用します。季節調整済指数は、原指数から季節変動要因を取り除いた指数であり、月々や四半期別の動向を短期的に観察する場合に使用します。

記号について

統計表中の記号の用法は次のとおりです。

- 「▲」・・・ 負の値（マイナス）
- 「—」・・・ 該当数値のないもの
- 「x」・・・ 当該製品の産出事業所が少ないため公表を差し控えたもの

その他

年平均、前年比は原指数、四半期平均、前期比は季節調整済指数を使用しています。

表やグラフ中のⅠ～Ⅳの数字はそれぞれⅠ（1月～3月）、Ⅱ（4月～6月）、Ⅲ（7月～9月）、Ⅳ（10月～12月）を表しています。

全国値は経済産業省、近畿値は近畿経済産業局公表の数値を使用しています。

該当数値のないもの、又は事業所数の少ないものについては、業種別の動向について記述を差し控えております。